

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称:

化成処理工場におけるボイラー更新による  
排出削減事業(灯油→LPG)

排出削減事業者名: 有限会社 斎藤パーカー工業

排出削減事業共同実施者名: 環境経済株式会社

その他関連事業者名:

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	有限会社 斎藤パーカー工業
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	有限会社 斎藤パーカー工業
住所	〒326-0328 栃木県足利市県町1113番地
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減事業概要

### 2.1 排出削減事業の名称

化成処理工場におけるボイラー更新による排出削減事業(灯油→LPG)

### 2.2 排出削減事業の目的

事業所のボイラー設備を高効率のものに更新することにより、省エネルギーおよびCO2排出量削減を図る。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

灯油焚きボイラーを高効率のLPG焚きボイラーに更新することで、エネルギー効率を改善する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか？	■はい □いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか？	■はい □いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2011年12月19日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月 1日 ~ 2016年 8月 31日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

活動量は使用しない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は使用しない。

#### 4.3 事業の範囲(バウンダリー)

本事業の範囲は、更新対象のボイラーおよびそれに付随する設備である。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、)変更理由
$F_{\text{fuel,PJ}}$	事業実施後燃料の使用量	kg	273,822.9	LPG供給会社からの購入明細 にて確認	
$HV_{\text{fuel,PJ}}$	LPGの単位発熱量	GJ/kg	0.0501	デフォルト値を確認	
$CF_{\text{fuel,PJ}}$	LPGの単位発熱量あたりの 炭素排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.06010	デフォルト値を確認	
$\epsilon_{\text{PJ}}$	事業実施後ボイラー効率	%	88.8	仕様書より算出 (高位発熱量基準)	
$\epsilon_{\text{BL}}$	事業実施前ボイラー効率	%	85.5	仕様書より算出 (高位発熱量基準)	
$CF_{\text{fuel,BL}}$	灯油の単位発熱量あたりの 炭素排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.06860	デフォルト値を確認	

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 事業実施後排出量

活動量 (kg)	単位発熱量 (GJ/kg)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /GJ)	CO <sub>2</sub> 排出量 (tCO <sub>2</sub> )
273,822.9	0.0501	0.0601	824.5
EM <sub>Pj</sub>			824.5

### 7.2 ベースライン排出量

$$Q_{\text{fuel,BL}} = F_{\text{fuel,PJ}} \times HV_{\text{fuel,PJ}} \times (\epsilon_{\text{PJ}} \div \epsilon_{\text{BL}})$$

活動量 (GJ)	単位発熱量	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /GJ)	CO <sub>2</sub> 排出量 (tCO <sub>2</sub> )
14,248.0		0.0686	977.4
EM <sub>BL</sub>			977.4

### 7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (tCO <sub>2</sub> )
LE			0

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	CO <sub>2</sub> 排出量 (tCO <sub>2</sub> )
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	977.4
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>Pj</sub>	824.5
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	152

## 8 省エネルギー量

原油換算 (kL)		
ベースライン(①)	実績(2)	ベースライン-実績(①)
367.6	358.9	8.7

$$\text{省エネ量} = 367.6 \text{ (kl)} - 358.9 \text{ (kl)} = 8.7 \text{ (kl)}$$

## 9 再生可能エネルギー利用量

- ・本事業において再生可能エネルギーは使用しない